

福岡県政及び福岡県議会に対する信頼回復を求める決議

福岡県議会及び福岡県における、議員並びに知事の海外出張に係る高額な経費の支出や契約手続の不透明さ、ワンヘルス関連事業への多額の公費負担、県職員の親睦団体による政治資金パーティー券の購入といった県議会と執行部の長年にわたる旧弊、県議会の正副議長選任を巡る金銭授受の疑惑の問題など、県民から多くの厳しい声が寄せられている。

これらの問題は、県民が納めた大切な税金の管理・執行が極めて不適切であることを浮き彫りにし、県政に対する信頼を大きく損なう事態であるとともに、県内の他自治体の議会にも大きな影響を及ぼしている。地方自治体が公費を執行するに当たっては、その使途については県民に分かりやすく説明し、理解を得る努力を尽くすことが求められる。特に、物価高騰が続き、県民の日常生活が厳しさを増している現状において、公費の支出に細心の注意と透明性のある管理が必要である。また、福岡県議会は、県民の負託を受けた議決機関として、自らの責任を重く受け止め、抜本的な改革を進める覚悟が求められる。

よって、大野城市議会は、福岡県知事及び福岡県議会に対し、今回の一連の問題について、第三者委員会による調査に全面的に協力するとともに、事実関係及び経緯を徹底して調査・検証し、その結果を速やかに県民に対して丁寧に説明するよう求める。

あわせて、問題が生じた原因と責任を明らかにした上で、必要な制度及び運用の見直し並びに再発防止を講じ、福岡県及び福岡県議会に対する県民の信頼回復に全力で取り組むことを強く求める。

以上、決議する。

令和8年9月25日

大 野 城 市 議 会